



復興と平和への祈り

牛久栄進高校チャリティコンサート

8月17日、牛久栄進高校が中央生涯学習センターで「～平和への祈り～チャリティコンサート」を開催しました。このコンサートは能登半島復興支援やウクライナ支援が目的で、当日はウクライナ出身のチェロ奏者の演奏やウクライナ留学生の体験談などが披露され、来場者からは「復興や平和を考えるコンサートでした」との声が聞かれました。



日本遺産ストーリーに文化財が追加

日本遺産構成文化財に新たに3件が追加認定

茨城県牛久市と山梨県甲州市の日本遺産ストーリー「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～」の構成文化財に、「旧飯島家住宅」「旧飯島家住宅所蔵牛久シャトー関連資料」「旧岡田小学校女化分校校舎」の3件が追加認定されました。

詳しくは市ホームページをご覧ください▶



▲旧飯島家住宅



牛久初開催に大相撲ファン大歓声

大相撲夏巡業「牛久場所」が開催

8月29日、大相撲夏巡業「牛久場所」が牛久運動公園で開催されました。大相撲巡業の牛久市での開催は初めてで、多くの家族連れや相撲ファンで会場は満員。取り組みに先立ち、初切、公開稽古の披露や市内の小学生や東洋大牛久高校の相撲部の部員らが力士に挑むわんぱく相撲、さらには力士との交流イベントも開催され、会場は大いに盛り上がりました。



夏休みの思い出に！

ひたち野うしく小学校区地区社協「ミニふれあいまつり」

8月26日、ひたち野うしく中学校の地域活動室前で「ミニふれあいまつり」を開催しました。これは、台風接近で中止となった「第13回ひたち野ふれあいまつり」のために準備してきた子供会や中学生ボランティアの企画を「ひだまりcafe」とタイアップして実現したものです。縁日コーナーや屋台などに大勢の子どもたちが集まり、会場は大賑わいでした。



日本全国で普通にみられる赤とんぼですが、季節により国内を移動することが知られています。初夏に平地の水田などで羽化した成虫は、暑さに弱いため、夏は涼しい山の上で生活し、涼しくなると再び平地に姿を見せるようになります。産卵のため、秋には人里の稲刈り後の水田などに集まりますが、その様子が、古くから童謡などに歌われ親しまれてきました。また、近年は、移動途中の大きな群れが、トンボの大発生などとニュースになることもあります。

今年の夏は記録的な暑さでしたが、暑いとき、このトンボは写真のように逆立ちのような姿勢で止まります。これは、体に当たる太陽光をなるべく少なくして体温の上昇を抑えるためで、尾の先はまっすぐ太陽の方向を指しています。

10月でも残暑の厳しい日には、逆立ちトンボがみられるかもしれません。





ともに“おいしい未来”をつくる

「うしくグルメソン2025」第1回、第2回が開催

市内事業者と市民、消費者が集まり、アイデアを出し合いながら飲食に関する新商品を開発する全5回のプログラム「うしくグルメソン」が8月から始まりました。市内事業者3社がこのプログラムに参加。8・9月には第1回、第2回のプログラムが開催され、各事業者と市民がグループを作り、事業者発案の新商品アイデアに対し、意見を出し合いました。「うしくグルメソン」第3回は10月19日、三日月橋生涯学習センターで開催予定です。ご興味のある方は、詳細をホームページをご覧ください。



▲イベントHP



▲市HP



伊勢屋／嚙下障害のある方でも安心して食べられる新しい和菓子などの開発をテーマに話し合う



UMA Lab. (松蔵屋)／新しい果実酒やブランドキャラクターの開発について進捗発表をする



YOBAREKKA DESIGN WORKS／出店予定の飲食店での目玉メニューをテーマに、城中町周辺の観光についてもアイデアを出し合う

少年たちが育てたブドウで牛久産ワイン

茨城農芸学院で牛久シャトーワインのブドウ収穫

牛久シャトー株式会社と久野町にある茨城農芸学院は連携し、ワイン用のブドウを同学院の施設内の畑で栽培しています。8月26日には院生と牛久シャトー関係者により収穫され、メルローやブラッククイーンなど、約1tのブドウが牛久シャトー株式会社に出荷されました。作業に参加した院生は、1房ずつ丁寧に摘み取りながら「このブドウは大きくて、色もきれい。育てるのは大変だったけど、無事に収穫ができてうれしい」と話してくれました。



さらなる発展を目指します

「うしく河童大根」「小菊」が茨城県銘柄産地を再指定！

8月19日、令和7年度茨城県銘柄産地指定証交付式が開催され、牛久市の「うしく河童大根」、牛久市・龍ヶ崎市広域の「小菊」が銘柄産地の再指定を受けました。この指定を受けるには、高品質で信頼性・安全性が市場で高く評価され、また市場における大量取引に対応できる生産・出荷体制と高い技術をあわせ持つなど多くの要件があります。交付式では両部会長が「再指定は関係者皆さまのご協力のおかげ。今後さらなる発展のため、引き続きご支援をお願いします」と謝辞を述べました。



(写真左) JA水郷つくば 大根生産部会会長 山越隼人さん

(写真右) 花き園芸部会会長 山本誠司さん

陶芸に挑戦、素敵な器ができたよ！

牛久市立第一幼稚園で陶芸体験

9月4日、牛久市立第一幼稚園では秋の芸術体験として市内陶芸家の指導のもと、焼き物作り体験を行いました。粘土で作った器に色を付けて窯で焼きます。焼き上がった器を目の前に園児たちからは「きらきらしてる！」や「色が変わった！」と焼き物の色の変化する様子に驚きや感動の声が上がりました。世界に一つだけの焼き物作り体験は園児たちにとって特別な思い出になりました。



受け継がれてきた牛久の伝統

団子を作って仏前に供える念仏講

桂町の金剛院には、秋の彼岸の前日に行われる伝統行事、「団子念仏」があります。今年は9月19日に執り行われ、地域の方々やおくの義務教育学校の児童たちが長さ約33mの大数珠を輪になって回す数珠繰りを行い、無病息災や五穀豊穡を祈願。その後、数珠は束ねて棒にくぐられ、町内の家を回りました。この「団子念仏」は地域に伝え残る行事として、今年7月に牛久市認定市民文化遺産に認定されています。



チームワークを大切に全力で戦います！

市内の小学生ドッジボールチーム、軟式野球チームが全国大会出場報告

小学生ドッジボールチーム「ST Enjoys」

県大会で優勝し、「第34回夏の全国小学生ドッジボール選手権」への出場を決め、その報告のため8月7日に沼田市長を表敬訪問しました。



学童軟式野球チーム「荊崎ファイターズ」

県大会で優勝し、「高円宮賜杯第45回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント」への出場を決め、その報告のため8月8日に沼田市長を表敬訪問しました。



牛久の夜空に花火

ダンスイベント・音フラ体験「牛久花火ナイター」

8月9日、牛久運動公園で行われた「茨城アストロプラネッツ VS 栃木ゴールデンブレーブス戦」にて牛久花火ナイターを実施しました。花火打ち上げのほか、ダンスイベントも開催され、会場は多くの人で盛り上がりました。また、同日には音声ゲーム×インフラ整備「音フラ」が開催され、参加者はRPG 形式の音声誘導で清掃活動等を行い、最後に DIY ベンチ製作をしました。



製作したベンチは芝生広場に設置しました▶

寄附

温かい善意ありがとうございます

株式会社イーペック牛久から

市へ100万円を寄附

同社からは長年にわたりご寄附をいただき、市政に大きく寄与されていることから、9月2日、表彰状が贈呈されました。

